



総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじについてはこちらから

[日本スポーツ振興センター HP] <https://www.jpnsport.go.jp/>

スポーツくじ



特集★「NO！スポハラ」活動の概要・取り組み

スポハラ(スポーツ・ハラスメント)に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R5/MM170_sphara.PDF

特別企画★大学生と連携し、子ども向けイベントを実施しているクラブ

NPO法人おやべスポーツクラブ(富山県)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R5/MM170_oyabe.PDF

連載★学校運動部活動と連携するクラブ

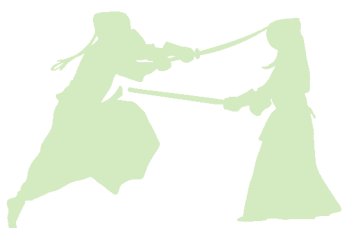
特定非営利活動法人憩楽クラブかつらぎ(和歌山県)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R5/MM170_ikora.PDF

助成金情報 ▶▶▶ 詳細

お知らせ ▶▶▶ 詳細

バックナンバー ▶▶▶ 詳細



JSPO
Japan Sport Association



特集

★「NO！スポハラ」活動の概要・取り組み★

スポハラ(スポーツ・ハラスメント)に、 みんなが『NO!』と言う 社会を目指して

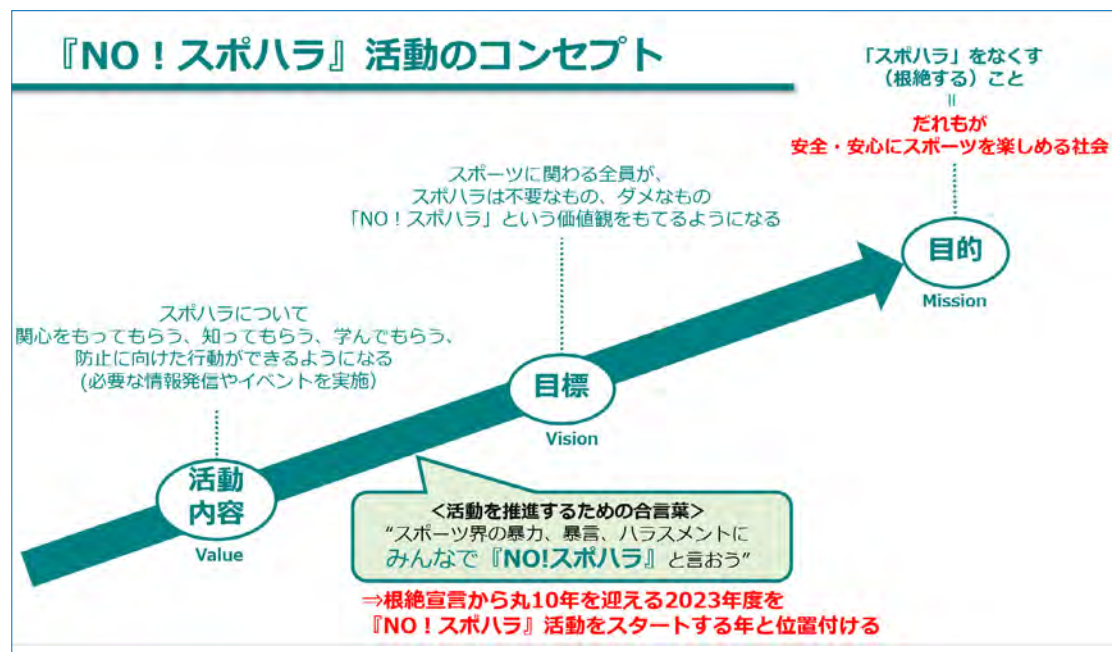



昨今、スポーツの現場における、暴力、暴言、各種ハラスメント等の不適切行為が大きな社会問題として取り上げられています。日本スポーツ協会では、今年度、5つのスポーツ関係団体と共にスポーツ界における暴力、暴言、ハラスメント等の不適切行為(スポハラ=スポーツ・ハラスメント)の根絶を目指し、「NO！スポハラ」活動を開始しました。

そこで今回は、「NO！スポハラ」活動の概要や取り組みについてご紹介します。

2013(平成25)年4月25日に日本スポーツ協会(JSPO)等が「スポーツ界における暴力行為根絶宣言(以下、「根絶宣言」)」を発出してから10年となる2023(令和5)年4月25日に、JSPO、日本オリンピック委員会(JOC)、日本パラスポーツ協会(JPSA)、日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟および大学スポーツ協会(UNIVAS)の6団体共同で、「NO！スポハラ」活動を始動しました。

この活動では、スポハラ(スポーツ・ハラスメント)をなくし、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会をつくることを最終的なミッションとしております。



根絶宣言を発出してから、スポーツ界では主に指導者側に研修会等を通じ、“スポーツに暴力、暴言、ハラスメントなどのスポハラはあってはならないもの”という考え方を浸透させてきました。多くの指導者の方々はこの考えを理解し、日々、『誰もが、安全・安心にスポーツを楽しめる環境』づくりに取り組んでいただいています。しかしながら、根絶宣言を発出してから10年がたつ現在においても、いまだスポーツ界における暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為がなくなるまでには至っておりません。

一方で、このような不適切行為をなくすことに取り組むのは指導者だけでしょうか？JSPOではこの問題に対し、スポーツにかかわる全員が向き合う必要があると考えます。

例えば、保護者から指導者への不適切行為、子ども同士や、保護者間での不適切行為、指導者から審判などのスタッフへの不適切行為などもなくしていかなければなりません。

そこで、「NO！スポハラ」活動では、スポハラを以下のとおり意味づけています。

◆スポハラ(スポーツ・ハラスメント)とは？

スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など「安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為」のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、「スポハラ」は起こり得ます。

つまり、誰もがスポハラの被害者にも加害者にもなり得る可能性があります。そのため、「NO！スポハラ」活動では、単なる指導者から選手へのスポハラをなくすための活動ではなく、「する・みる・ささえる」など、スポーツにかかわる、子どもから大人まで、すべての人々による、暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為を総称したものを「スポハラ」と呼び、“スポーツ界に「スポハラ」なんていない！”、“まだ「スポハラ」なんてやっているの？”という価値観を広げ、スポーツ界からスポハラを追い出す活動を進めています。

活動の始動年となる本年度は、とりわけその活動の対象を保護者の方とし、保護者向けの情報発信やイベント等に力を入れています。

子どもたちのスポーツをいちばん近くで支える保護者の方に、まずは「スポハラ」の問題に目を向けていただき、関心を寄せていただく機会として、イベントを開催いたしました。

●7月30日開催オンラインセミナー



●9月17日開催ワークショップ



※オンラインセミナーは下記URL よりオンデマンド動画をご視聴いただけます。

<https://www.japan-sports.or.jp/spohara/event/#cont03>



「NO！スポハラ」活動では、保護者向けの企画以外にも、さまざまな情報発信や企画等を予定しており、詳細は、「NO！スポハラ」活動のWEBサイトおよび日本スポーツ協会公式SNS(@JSPO_official)にてご覧いただけます。

●「NO！スポハラ」活動WEBサイト

<https://www.japan-sports.or.jp/spohara/>



「NO！スポハラ」活動に賛同いただける方はぜひ、#noスポハラとSNS等で投稿いただき、スポハラに、みんなが『NO！』と言う社会を目指して、「NO！スポハラ」活動の輪を広げていきましょう！



鈴木大地さん



益子直美さん



谷本歩実さん



<日本スポーツ協会公式SNS>

Facebook: <https://www.facebook.com/JSPC.Association>

X(旧Twitter): [@JSPC_official](https://twitter.com/JSPC_official)

YouTube: [@JSPC_official](https://www.youtube.com/JSPC_official)



特別企画

★大学生と連携し、子ども向けイベントを実施しているクラブ★

NPO法人おやべスポーツクラブ 富山県小矢部市

総合型クラブが、「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」という基本理念の実現に向けて、自立・自律し安定的に充実・発展していくためには、地域の各種機関・団体関係者等との連携が必要となってきます。

そこで今回は、大学生と連携し、子ども向けのイベントを行っているクラブを紹介します。

1

クラブ概要

「いい汗 いい顔 すてきな仲間」をキャッチフレーズに会員が主体となり始動

おやべスポーツクラブは、平成10年に当時の派遣スポーツ主事^{※1}と市体育課が中心となり、体育協会や体育指導委員（現スポーツ推進委員）の協力をいただき、総合型地域スポーツクラブの発足に向けて設立準備委員会を開催しました。平成12年に設立し、「いい汗 いい顔 すてきな仲間」をキャッチフレーズに、運営のために会員からクラブの運営委員を募り、総務・教室・広報・イベントの部会を実施運営、平成18年にはNPO法人格を取得しました。

平成20年には活動拠点となる小矢部市文化スポーツセンター、照明設備のあるグラウンド、平成26年には小矢部ホッケー場、小矢部市野外運動広場の施設管理を受託しました。

※1 地域におけるスポーツ・社会体育の振興を目的に市町村教育委員会の求めに応じて派遣される教員

小学生から大人、さらには「ホッケーの街おやべ」を支えるなど幅広く展開

教室は、大人向けの一般教室（健康・仲間・生きがいづくり）と子ども向けの青少年教室（子どもたちの未来を育む）を実施しています。一般教室は31教室開催しており、年間・3カ月・1回と参加者それぞれの目的や生活スタイルなどに合わせて、教室設定（回数・受講料）を行っています。

青少年教室（子どもたちの未来を育む）は、小学生から中学生を対象に、初心者から上級者まで活動できる教室を競技団体と連携して開催しています。小学生を対象とした少年少女スポーツ教室は、市から地域おやべっ子推進事業の委託を受けて開催し、中学生を対象としたジュニアスポーツ振興事業は、地元企業の財団からの助成を受けて開催しています。また、大学生が企画運営を行って夏休み・冬休みに実施している「わんぱく学園」は小学生人気No.1イベントです。

令和4年からは日本ホッケートップリーグに参戦している「小矢部RED OX」を中心とした全世代型ホッケークラブ「RED OX OYABE HOCKEY CLUB」と教室展開や大会運営で協働を図り「ホッケーの街おやべ」を支えています。

2 大学生が主体となる人気イベント「わんぱく学園」

子どもたちへ熱い想いを伝え、毎回笑い感動の涙あふれる場に

わんぱく学園は、近隣クラブに視察に行ったことをきっかけに活動を始めました。

クラブが活動を始めて6年がたったころ、自分たちのクラブ活動を振り返り、運営委員やスタッフで話し合う機会が増えました。自分たちのクラブには何かが足りない気がしていましたが、具体的にどうしたらよいかまったく答えが出ませんでした。そこで近隣にあるクラブへ視察に行くことになり、夏休み子どもプログラムの取り組みがとても情熱的で素晴らしく、感動して帰ってきました。

クラブでも開催してみようということになり、「夏休み特別企画、子どもたちと一緒に活動しませんか？」と地元の大学生に直接声をかけてみたところ、その友人などのつながりでなんと7名の大学生が集まりました。企画を話し合ったときの充実した熱い時間は今でも忘れません。冬休み企画には16名の大学生が集まり、3日間の開催で募集したところ、小学生59名の応募があり、とてもうれしかったです。

2年目の夏、1年目に参加した地元の大学生から、所属する『富山大学チャレンジキャンプの会』のメンバーでぜひ活動させてほしいと声上がり、感銘を受けました。それから今日まで、夏休み、冬休み、時には春休みにもわんぱく学園を開催し、毎回、抽選になるほど人気のイベントになっています。

平成19年から開催して16年目になりますが、2泊3日の企画により寝不足でダウンする大学生がいたり、学生スタッフが少なく開催が厳しいときもあったり、それでも毎回「わんぱく学園」って何？今回の「テーマ」はどうするかを話し合い、その取り組みが引き継がれていると思います。

大学生は、イベント最終日に子どもたちの前で一人ずつ感想を語ります。その想いは子どもたちにも伝わっていると感じます。

毎回、大学生の笑いと涙にあふれ、想いのこもったわんぱく学園は、子どもたちにとってふだん体験できない特別な思い出になっていると思います。



大学の打ち合わせ



学生スタッフ

●わんぱく学園 取り組み内容

わんぱく学園は、富山大学の学生が企画運営を行い、小学1年生～6年生、他学校、大学生が一緒になって、学校や家庭では体験できない活動を行っているイベントです。日帰り、1泊2日、2泊3日、バスや公共交通機関を使って県外宿泊などさまざまな形で活動をしています。

<テーマ>

- 夏 「みんなで暮らそうキャンプ～!」「わんぱく王に、君はなる!!」
「わんぱく!夏のキラキラ大冒険☆」「パワー全開 夏だ!まつりだ!わんぱくだ!」など
- 冬 「かわいい子には旅をさせよ!」「雪降る冬を乗り越えろ!パワフル年越しわんぱくランド」
「ボクらのキラキラクリスマス大作戦」「ハートがホットなフユ」
「わんぱくMAGIC!! つながるハート」など

<実施内容>

- 夏 水あそび、夏祭り、運動会、流しそうめん、キャンプ、きもだめしなど
- 冬 クリスマス会、お正月遊び大会、餅つき、雪合戦、ケーキづくり
食材ゲットゲーム、サイレントゲームなど
- おなじみの遊びをわんぱく学園オリジナルに工夫を凝らしてつくりあげます。

<本番までのスケジュール>

夏休み期間開催の場合

- 4月 学生がサークルメンバー募集
5月 大学生会議
6月 クラブスタッフと打ち合わせ
(内容協議・チラシ作成等)
7月 フィールド調査(事前準備)
※内容によって数回
8月 本番

冬休み期間開催の場合

- 9月 大学生会議
10月 クラブスタッフと打ち合わせ
(内容協議・チラシ作成等)
11月 フィールド調査(事前準備)
※内容によって数回
12月 本番

<費用>

テーマ(内容)が決定したときに大学生と協議して参加料を決定しています。会員価格と一般価格の2種類に料金設定し、クラブ会員はお得に参加できるようにしています。

参加料内訳:事業教材費、消耗品費、保険料、施設管理費、謝金など

※わずかながら大学生には謝金を渡して活動しています。



チラシ作成



水遊び



雪遊び



餅つき

「わんぱく学園」の活動を通じてクラブに対する信頼度アップに

わんぱく学園を行うようになってから、クラブに子どもたちが遊びに来てくれるようになりました。大学生スタッフのOB・OGや、小学校を卒業した子どもたちも手伝いに来てくれています。また、取り組みを始めたころは、教員志望の学生が多く参加していましたが、今ではさまざまな学部の学生も参加しており、わんぱく学園を経験した大学生スタッフのOB・OGの中には、教員として現場で活躍している人もいます。

さらに、学生の若さや情熱、考え方、子どもたちへの対応などを間近で見ることで、クラブ運営委員やクラブスタッフの意識も変わりました。

活動を行うなかでクラブ自体の認知度も上がり、学校、行政、保護者などにクラブを知ってもらえるようになったため、わんぱく学園以外のイベントや教室の参加者も多くなりました。子どもの活動に関する周囲の理解度が向上したことにより、クラブに対する信頼を得ることができたと感じています。

企業などと連携を図りさまざまな課題の解決をめざす

取り組みを始めたことでたくさんの良い効果がありましたが、同時に「学生スタッフの減少」「活動費の捻出」「安全への配慮」などの課題も出てきています。

学生スタッフの減少については、活動を始めたころと比べて学生スタッフの人数が少なくなっており、今後もこれまでと同じような活動ができるか心配があります。現時点では大学本部との連携はありませんが、今後は、学生の体験の場はもちろん、総合型クラブと地域についての研究をする場として協力することにより、継続的に学生スタッフの確保につながっていけばよいと考えています。

また、活動費については、現在、ほとんどの活動費を参加費で賄っていますが、今後は企業との連携などを進めて活動財源を確保することで、安価に参加できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

安全面への配慮については、熱中症や食中毒、感染症対策、また、多様な子どもたちの発達支援などについて、今後より一層の配慮が必要となっていくため、対応を考えていきたいと思っています。

3

人のつながりで地域の問題を解決し、なくてはならない存在へ

それぞれの立場から意見を出し合うことでつくりあげた活動。 今後もその心を大切に

クラブ設立から23年がたち、これまでにさまざまな課題をクラブの関係者だけではなく、運営委員、学生、地域ボランティア、参加者、クラブ員(教室、イベントの参加者や会員)、サポーター会員、そして指導者と話し合い、今があります。

財源確保、法人格取得、指定管理制度、会員確保、事務局体制、教室やイベントの事業展開、運営体制などクラブの自主運営のため、さまざまな努力をしてきました。

また、現在も地域では少子高齢化、教育、環境、経済など課題が山積みです。健康・スポーツ分野においては、子どもの体力低下、運動をする子しない子の二極化、部活動の地域移行、運動不足による生活習慣病などの課題があります。

これからも地域課題を解決していくために、クラブでは人と人のつながりを大切にしていきたいと思います。簡単に解決できない問題や課題解決の方向性が出ないときもあります。その中でクラブの良さや理念を語り、他分野の団体や人とつながりながら地域の問題を解決していくことで、クラブが地域になくてはならない存在になっていけるように頑張っていきます。

NPO法人おやべスポーツクラブクラブマネージャー 沼田秀樹

クラブプロフィール

設立年月日 平成12年7月1日(平成18年4月3日NPO法人登記)

所在地 富山県小矢部市埴生2124番地1(小矢部市文化スポーツセンター内)

運営 会員数:1,355名(令和5年8月現在)、予算規模:60,497千円(令和5年度)

特徴

- ◆子どもからお年寄りまでが年間を通して参加できる教室を多数設定している
- ◆学生が企画運営している“子ども元気プログラム”を開催(わんぱく学園)
- ◆地域活性化プロジェクトを開催している(イベント協力・緑化整備事業)
- ◆全世代型ホッケークラブと連携して「ホッケーの街おやべ」を応援
- ◆地域の問題点に協力し「楽しみ・想い・やりたいこと」ができる温かいクラブ

連絡先 郵便番号:〒932-0836 住所:富山県小矢部市埴生2124番地1
TEL:0766-68-0588 FAX:0766-68-0588
HP:<https://www.oyabe-sc.com>
E-mail:info@oyabe-sc.com



★本記事の読み上げ動画を作成しました！

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください！
動画はこちら➡<https://youtu.be/HpMvGzHtR-g>



連載

★学校運動部活動と連携するクラブ★

特定非営利活動法人 憩楽クラブかつらぎ 和歌山県伊都郡かつらぎ町

学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5年から令和7年までを「改革推進期間」と位置付け、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう、各自治体に求めています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1

クラブ概要

未就学児からシニア世代まで生涯スポーツを目標に活動

平成21年11月29日総合型地域スポーツクラブ設立、平成26年3月13日特定非営利活動法人憩楽クラブかつらぎとして法人登記をし、未就学児からシニア世代まで『生涯スポーツ』を目標に、公共施設や当クラブが委託管理を受けている体育館で、17種目28教室の多種多様な教室を開催しています。また、クラブハウスにレンタルスペースを設け、太極拳やヨガなどの教室も開催しています。

参加会員数は280名(令和5年4月時点)で、50歳代、60歳代、70歳以上の女性が全体の40%を占めています。次に多い年齢層は未就学児・小学校低学年が全体の23%で、特にダンスに人気が集まっています。また、健康に意識を向けて活動するシニアが増えてきていることに注目し、80代向けのシニアエクササイズを開催しています。積極的な参加を促進することで、結果的に医療費の軽減にもつながると考えています。

運動教室: 貯筋運動・健康体操・ヨガ・ピラティス・ハワイアンフラ・太極拳・ファミリーバドミントン
バスケットボール・キッズ運動・ダンス・水泳教室(夏季)

カルチャー教室: 英会話・手習い(硬筆・毛筆)教室

2

行政、中学校と三位一体となり 段階的な地域移行に取り組む

生徒の自主的な活動を尊重し、必要に応じて地域指導者を派遣

かつらぎ町では、行政と中学校、NPO法人憩楽クラブかつらぎが三位一体となり、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて取り組んでおり、令和3年度は、卓球部と剣道部にクラブ所属の地域指導者を派遣しました。

令和4年度は、かつらぎ町内の2つの中学校において、「国・県の方針」「伊都地方部活動指針(伊都地方教育長会)」に基づき「各校の部活動運営方針」を定めて部活動を実施し、生徒の自主的な活動を尊重しつつ、必要に応じて地域指導者を派遣しています。現在では、バレーボール部(女子)と陸上競技部にも地域指導者を派遣することができました。陸上競技部においては、学校部活動で県内中体連主催大会に出場するだけでなく、県外大会に出場できる地域クラブチームにも併せて所属することで挑戦の機会を増やし、大会でも好成績を残しています。

コーディネーターを含む地域指導者と教員の連携により、 持続的な活動が実現。喜びの声も

また、令和5年度から元教職員の地域部活動推進コーディネーター(以下、「コーディネーター」)を行政が配置し、各方面での調整を行っています。

コーディネーターは、教育的配慮を含めた指導方法などを担当し、部活動時間の変更となった場合の対応や練習試合の日程調整、現地視察、指導補助、書類(指導実績報告書)の取りまとめ等を行っています。

現在は、剣道部の部員がいないため、剣道部への指導者派遣は行っておりませんが、3つの部活(卓球部／1校、陸上競技部／合同、バレーボール部／1校)に指導者を派遣しており、土日を中心に(平日にも1、2回)地域指導者と教員(兼業・兼職承認願の提出者)が連携し指導しています。

連携している3部活とも、複数の指導者(地域指導者と教員)から専門的指導を受けられるため、生徒も部活動により充実感を得られるようになりました。さらに、生徒の技術力アップによって、大会での勝敗にも良い影響を与え、生徒・保護者の喜びや感動を得ることができ、持続的な活動につながっています。

加えて、昨年度まで陸上競技部がなかった中学校の生徒が、連携事業によって、かつらぎ町内のもう一つの中学校陸上競技部と合同で活動できるようになり、生徒や保護者から喜びの声が上がっています。

卓球部



令和3年度から外部指導を受けています。当時の1年生が最高学年となり、夏の大会で引退したあと、1、2年生への指導を手伝ってくれています

バレーボール部



3年生引退後、新しい指導者が来てくれました。令和5年度秋の大会に向けてスタートしています

陸上競技部



練習日は火・木・土
夏場は早朝練習をしています

指導に意欲的な人材と、安定した財源の確保が課題

部活動連携における指導者の確保については、当クラブのクラブマネージャーとコーディネーターが連携し、スポーツ団体や高校、大学に加え、地域の方々からの情報を参考にしながら指導者を確保できるように調整をしています。しかし、当クラブの活動地域にはスポーツとつながる大学や企業が少ないため、他団体との密接な関係が築けず、指導に意欲的な人材の確保が難しいのが現状です。

また、連携当初は、一部の部活で地域指導者と教員の指導方針の違いが見られましたが、教員は、生徒を見守り、地域指導者を必要に応じてフォローし、問題を未然に防ぎ解決する方向を模索するなど、コミュニケーションを重ねることで改善され、現在では生徒たちも戸惑うことなく指導を受けられています。

活動の財源は、行政(国の実証事業・かつらぎ町独自の予算措置)の予算のみで、クラブの予算や部費、学校の予算はないのが現状です。

かつらぎ町が国から「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行等に向けた実証事業)」の指定を受けるとともに、これを補完する形でかつらぎ町独自の予算措置として「地域部活動推進事業」を実施しています。活動財源が行政の予算に偏っているため、行政が予算を安定的かつ継続的に確保できるかに不安要素があります。

活動場所については、中学校の施設や当クラブが委託管理を受けている体育館などをコーディネーターと連携して確保しています。屋外の場合、天候に左右されるため、今後、屋内体育館の優先使用をできるようにするなど活動場所の確保が必要だと考えています。

また、中学校外で活動する場合、生徒の移動手段の確保が難しく、さらに校区が山間部の広範囲にわたるため、スクールバス通学者の部活動時間が短くなってしまうなどの課題もあります。

保護者と教員の理解が活動には不可欠

今後、円滑に部活動連携を進めていくにあたり大切だと考えているのが保護者の理解を得ることです。保護者代表(PTA会長など)が行政開催の地域移行に関する会議(年3回開催)に参加したり、行政が小学校4年生以上の保護者を対象に、部活動連携についての実態調査に関するアンケートを実施しました。このアンケートは、今後の方向性を検討する材料のひとつとなっています。

保護者から、地域指導者による指導や、部活動を行うにあたっての金銭負担(部費の設定)に理解を得ることができるかが今後の部活動連携の展開を大きく左右すると考えています。保護者の理解と協力を得られるよう、段階を踏んで理解促進に努めていきます。

また、保護者だけでなく、教員の理解を得ることも重要と考えています。部活動連携を進めていくなかで、徐々に教員からも地域指導者の受け入れに対して理解を得ることができるようになってきました。それにより、部活動における教員の負担が減り、教員の働き方改革にもつながりつつあります。

3

総合型地域スポーツクラブの活動を通じて 地域の活性化にもつなげたい

行政・学校と関係性を強め「地域の子どもたちは地域が育てる」 という気概をもって

学校運動部活動は、これまで学校教員が部活動指導をしてきました。しかし、部活動を取り巻く環境には、生徒のニーズの多様化や生徒数減少による部活動の縮小化、教員の働き方改革などさまざまな課題があります。地域団体が学校運動部活動を担うことで改善を図っていきたいです。生徒のニーズの多様化、教員業務負担の改善に対応するためには、総合型地域スポーツクラブがかかわることに大きな意味があると思っています。総合型地域スポーツクラブは、多世代に対応したプログラムがあります。中学生のみを指導するのではなく、多世代のなかで活動・交流の場が広がり、地域活性化にもつながると考えています。

少子高齢化社会が加速するなかで、「地域の子どもたちは地域で育てる」ということを念頭に、今後も行政・学校とも強固な関係性をつくり、連携を図っていきたいです。

特定非営利活動法人憩楽クラブかつらぎクラブマネジャー 山下利香

クラブプロフィール

設立年月日 平成21年11月29日(平成26年3月13日法人登記)

所在地 和歌山県伊都郡かつらぎ町佐野793

運営 会員数:280名(令和5年4月現在)、予算規模12,000,000円(令和5年度)

特徴 受益者負担(月会費支払)バイキング方式で開催教室に参加できる

未就学児からシニア(89歳)までが活動できる教室開催!

体力年齢日本一を目指すかつらぎ町で生涯スポーツを!

紀の川万葉の里マラソン&リレーマラソンを毎年開催(14回目)

地元を元気に!【なんでも市】(屋台・キッチンカー)定期開催

防災用品、救命救急について、困りごと相談など行政と連携

連絡先 郵便番号:〒649-7174 住所:和歌山県伊都郡かつらぎ町佐野793

TEL:0736-22-1023 FAX:0736-22-1023

HP:ikora8.wixsite.com/ikoraclub

E-mail:ikora@gaia.eonet.ne.jp



助成金情報

YMFSスポーツチャレンジ助成2024年度(第18期生)

[実施団体] (公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団

スポーツに関連する幅広い分野で世界の舞台へ大きくはばたく情熱的なチャレンジを応援。グローバルに活躍することをめざし、高い目標を掲げて取り組んでいるアスリートや指導者、研究者の活動(体験分野、研究分野)を支援・助成します。

[申込期間]

2023年9月1日(金)～10月31日(火)正午にて入力締切。申請フォームにて、「電子申請」を行います。詳しくは以下のページでご確認ください。

<https://www.ymfs.jp/assist/>

お知らせ

日本スポーツ協会情報

令和5年度生涯スポーツ功労者が決定しました！

国による生涯スポーツ功労者表彰は、地域または職域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域におけるスポーツ振興に顕著な成果を挙げたスポーツ関係者を表彰するものです。

今年度は生涯スポーツ功労者161名、生涯スポーツ優良団体100団体の表彰が決定しました。総合型地域スポーツクラブ育成指導者として、日本スポーツ協会から8名を文部科学省へ推薦し、「生涯スポーツ功労者」として決定されました。

生涯スポーツ功労者一覧については下記URLを参照ください。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/31/09/1420919_00003.htm



日本スポーツ協会および国民体育大会の名を騙って ライブ配信を装うフィッシング詐欺が現れています

現在、インターネット動画共有サイト「YouTube」や「X(旧Twitter)」上において、当協会の名称およびロゴ、「国体」「国民体育大会」の名称を無断で用いて、ライブ映像の配信を装うフィッシング詐欺がたびたび出現しています。これらのコンテンツや投稿においては、ライブ映像を見るための条件として、外部サイトへの接続が求められ、さらに会員登録と称して、氏名やメールアドレス、クレジットカード番号情報の入力などが求められます。

しかし、これらはフィッシング(個人情報などを奪う詐欺)サイトであることが確認されています。

当協会が主催する大会での映像配信については、下記のとおり予定していますが、下記以外の配信については、当協会とは一切関係なく、フィッシング詐欺の可能性があります。上記あるいは類似の不審なサイトやSNS投稿、覚えのないアドレスからのメールなどには十分ご注意ください。

各大会における映像配信について

①日本スポーツマスターズ2023福井大会

大会の中継および映像配信は、予定しておりません。

②特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)本大会<会期前開催競技含む>

JSPO TV 国体チャンネル <https://japangamestv.japan-sports.or.jp/> のみで
中継および映像配信を行います。YouTubeでは配信いたしません。

③特別国民体育大会ブロック大会および同都道府県予選会

当協会による各大会の中継および映像配信は、予定しておりません。

**同様のケースは他の試合や大会でも生じており
警視庁でも以下のとおり注意を呼びかけています**

HP: <https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/cyber/joho/fishing.html>

X(旧Twitter): https://twitter.com/MPD_cybersec/status/1598148881639874560

当協会のYouTube公式チャンネルはこちら

<https://www.youtube.com/channel/UCQxmtzzsvN-6Qnl7UBfoEdQ/videos>

アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)のYouTube公式チャンネルはこちら

<https://www.youtube.com/channel/UCChgf6gEiDiYAmdswdu8Da1Q/videos>